

## 令和6年第1回郡家警察署協議会開催状況

開催日時	令和6年2月20日(火)午後1時30分から午後2時40分まで	
開催場所	郡家警察署	
出席者	委員 (定数5人)	山根会長、小谷副会長、大野委員、歳岡委員、奥村委員 以上5人
	警察	小西署長、戸板管理官、北村生活安全刑事課長、魚寄地域交通課長、田辺会計課長、警務課員2人 以上7人
<b>議 事 概 要</b>		
<p><b>1 挨拶</b> 会長、警察署長が挨拶を行った。</p> <p><b>2 交通安全教育機器の説明・体験</b> 委員が、交通安全教育機器（動画KYT）を用いた体験型の交通安全教育について説明を受け、実際に体験した。</p> <p><b>3 業務推進状況等説明</b></p> <p><b>(1) 生活安全刑事に関する取組結果及び予定</b> 生活安全刑事課長から、特殊詐欺被害防止活動及び自転車盗難被害防止活動の取組結果並びに今後の取組について説明があった。 委員からの主な意見は次のとおりであった。 委員：特殊詐欺被害者の多くは、60、70歳代と把握しているが、このことを再認識して被害に遭わない努力を継続していきたい。</p> <p><b>(2) 地域交通に関する取組結果及び予定</b> 地域交通課長から、管内の交通事故発生状況及び地域交通に関する取組結果について説明があった。 委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：シートベルトコンビンサーとはどういったものか。 警察：日本自動車連盟（JAF）が所有する機器で、正式には、模擬衝突体験機と言う。交通事故による衝撃を体験することができ、シートベルト着用の重要性や着用に関する意識の向上などを目的としている。交通安全講習等の際には、実際に体験していただいている。</p> <p><b>(3) 令和6年鳥取県警察運営指針、重点目標の設定について</b> 管理官から、令和6年鳥取県警察運営指針、重点目標の設定状況及び概要についての説明があった。</p> <p><b>4 委員からの自由意見</b> 委員：近年の社会事象に鑑み、警察では、不審者についてどのような対応を実施しているか。 警察：学校、教育委員会、市町村役場など関係機関と連携し、不審者に関する前兆事象を含めた情報を共有し、様々な事象に的確に対応できる体制を構築するなどの対策を講じている。 また、不審者情報を認知した際は、発生場所を中心にパトロールを強化し、</p>		

不審者の特定に努めている。

委員：近年、青パトを見かけることが少ないように感じる。必要に応じて情報共有するなど連携を図っていただきたい。

委員：進路変更するときに、ウインカーを出さなかったり、出すのが遅いドライバーが多くいるように感じる。このようなドライバーに対して、どのような対策をしているのか。

警察：交通指導取締りを行うほか、各種交通安全教育、広報啓発活動などの機会を通じて対策を推進していく。

委員：交通安全教育機器（動画KYT）を体験し、車両運転時に注意すべきことや目視確認の重要性について再認識できた。

## 5 その他

次回協議会は、令和6年6月頃に開催する予定である。